

# みんなの県政

45 / 10

No.22

富山





賢い消費者づくりをめざす県消費生活相談室は、九月一日、中田知事、姫野県婦人会長がテープカットを行ない、県民会館一階南側にオープンしました。

消費者の寄りどころとなる相談室には、東京の消費者協会でみっちり研修をつんだ生活相談員三人が常駐。消費者からの買いもの相談や苦情の処理に応じるほか、科学的な生活を営むために必要な情報や資料を展示し、県が来年度に計画している「消費生活センター」のミニセンターともいふべきものです。毎日午前八時半から午後五時まで（土曜日は正午まで、日曜、祭日は休み）開館しておりますから、自由にご利用下さい。（テープにハサミを入れる中田知事と姫野県婦人会長）

相談員三人が常駐

ご利用ください



消費生活相談室

9月1日オープン



みんなの県政 45年10月号 (No.22)

表紙・富山藩出兵の図 歴史シリーズ

<グラビア> 消費生活相談室オープン…	3
要望多い交通・公害…世論調査から…	4
目を大切に…	8
業は凶器にも…	8
花嫁さんブラジルへ…	9
10月の解説	
<写真特集>	
陸海空一体の県防災訓練…	10
みなさんと県政を結ぶ 県政公聴会から…	12
<県庁の機構紹介>	
土木部砂防課…	12
<国の出先機関紹介>	
総合職業訓練校の巻…	13
<最近の県政から>	14
○豪雪山村開発総合センター完成	
○白岩川ダム用地補償に調印	
○直接請求の県議会ひらく	
○老後のための県民会議ひらく	
<カメラルポ>	
老後を楽しく 県立流杉老人ホーム…	16
<富山県の自然>②	
岩室滝…	18
<越中史夜話>⑬	
籠の渡りとロープウェー…	19

表紙説明

歴史シリーズ②  
(富山藩出兵の図)  
幕末のうごき



徳川300年の泰平のねむりは、ロシアの南下によって破られ、幕府は文化3年(1805)各藩に海防の厳重を命じた。わが越中においても、安政6年(1859)4月24日、伏木港へロシアの軍艦が乗り入れ、人々を騒がせた。このころから国内の政治情勢も緊迫化し、世論は、勤王・佐幕に分かれて相抗争した。

「菊は栄える、葵は枯れる……」そのころの流行歌にうたわれたように、根元のくさっていた徳川という大木は、ついに倒れた。慶応3年(1867)12月、王政復古の号令が発せられ、江戸城は平和のうちに、4月11日官軍に明け渡された。しかし、鳥羽、伏見の戦いの責任を追求されていた会津藩の処理をめぐる、東北諸藩は新政府にそむいていた。東北に接する越後地方にもたちまちひびき、新発田藩をはじめ、北部の藩は、東北諸藩の同盟に加わって新政府に反抗した。

新政府は、加賀藩に北陸道鎮護を命じ、越後の諸藩に対し警戒させたが、さらに北陸道鎮撫総督兼会津征討総督高倉永祐卿の指揮のもとに、まず薩・長2藩、ついで芸州・加賀・富山の諸藩にも出兵を命じた。写真のように、富山藩も堂々銃槍をととのえ出陣していった。戦いは4月から、村上城落城の8月まで続いた。戦いは官軍に有利に展開したが、なかでも河井継之助の指揮する長岡藩の抵抗は烈しく、一時は占領した長岡城を奪回されるなど、苦戦の一幕もあった。

このような戦いのなかで、越中は兵站基地としての重要な役割りを果たした。軍需物資の徴発や役夫の徴集、戦地へゆく兵隊の休泊地に物情騒然としたのである。

明治維新は日本が近代国家として生まれかわる夜あけであった。富山県の夜あけ……それはこのように北越戦争の戦鼓のなかに迎えたのである。

(今回をもって表紙の「歴史シリーズ」を終わります)

10月号もくじ



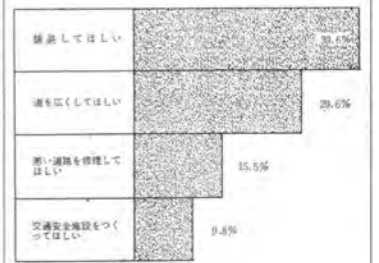
# い交通、公害

## 人の希望尊重 43%

## 県民意識調査まとまる

### 〔道路〕

#### 道路についての要望



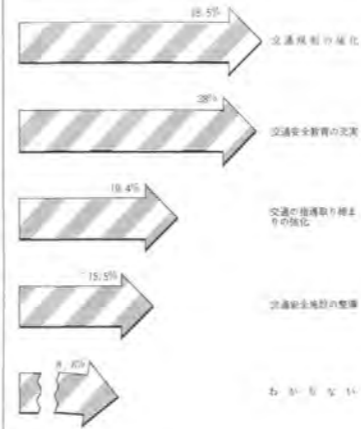
道路についての要望は、県民の七四・五割が持っており、舗装してほしい三九・六割、巾を広くしてほしい二九・六割と両者を合わせると過半数を占めている。

高岡、魚津、砺波地区や農山漁村部、商店街関係では道路改

良の要望が多く、富山地区や住宅地では舗装の要望が多い。また、住宅地、商店街の交通安全施設の要望がほとんど、橋についての要望がほとんどないことから、県内の道路事情をよく反映しているといえる。

### 〔交通安全〕

#### 交通事故を防ぐためには

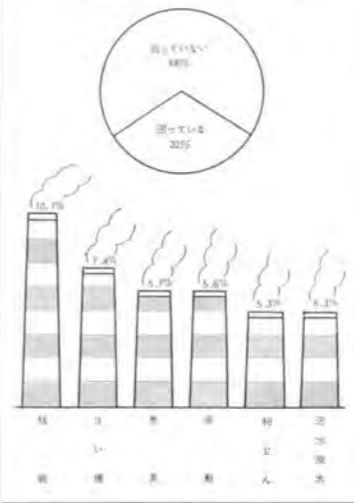


県民の交通安全対策に対する関心は意欲的であり、スピード制限や駐車禁止などの規制強

化二八・五割、交通安全教育の徹底二八・〇割と圧倒的に多い。

### 〔公害〕

#### どのような公害で困っているか



公害で困っている県民は、調査対象者の三分の一にあたる三二・四割、地区別では富山地区三七・九割、高岡地区三二・八割、魚津地区三二・〇割、砺波地区一九・八割となっている。市部では三人に一人(三五・二割)が、郡部では四人に一人(二五・八割)の割合で被害を

訴えている。事象別では、騒音一〇・一割が最も多く、ついでばい煙七・四割、悪臭五・七割、振動五・六割、粉じん五・三割、汚水排水の五・三割となっており、一般に騒音は振動を伴う場合が多いことを考えると、騒音関係で困っている人は、さらに大きなウ

# 要望多

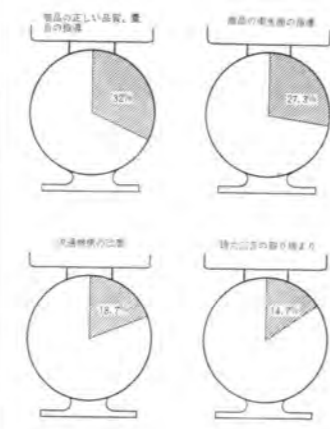
## 高 校 本 選 択

県民は何を求め、県政にどんなことを期待しているか。県ではこのほど県政全般について、はじめての世論調査を行いました。

この調査は、県内の20才以上の男女1,200人を対象に、5月25日から6月4日まで、専門の東京、中央調査社に依頼し行ない1,085人(90.4%)の回答を得ました。項目では、道路、交通安全、公害、消費者保護、社会福祉、保健衛生、青年の船、教育、精神開発、社会教育、体力づくり、中小企業、農業の振興、公聴、広報、一般県政の15項目について調査し、その結果がまとまったものです。

### 〔消費者保護〕

#### 消費者を保護するため望むこと



消費者が県行政に求めている施策をとりあげたのであるが、回答者の三二・〇割が商品の正しい品質、量の指導をあげ、二七・三割が商品の衛生指導をあげている。

また、一四・七割が誇大広告の取り締まりを求めていることから、うそつき表示の関心が高まりつつあることがうかがわれる。

女性が品質、量目、衛生面など、直接的な指導の強化を求め

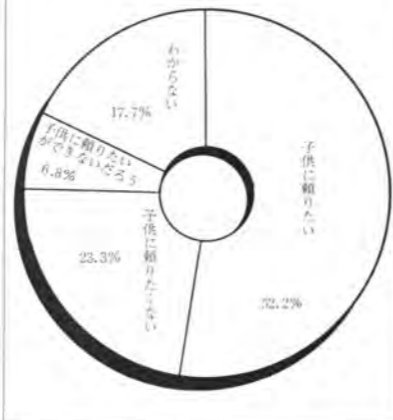
ているのに対し、男性は誇大広告の取り締まり、流通機構の改善など、構造自体の改善を求めている。

チャロ入り食品に対する意見としては、監視員の増加と取り締まりが五二・七割と圧倒的に多い。

一方、消費生活を科学しようという目的で、消費生活センターを設置する準備を進めているが、これに対する意見は「日常生活用品をテストしたい」とい

### 〔社会福祉〕

#### 老後は子供に頼りたいかどうか



老人人口の増加はこんごますます進む。本県においても、現在一〇人に一人が老人であるが、昭和六十年には、七人に一人と予想されている。「老後は子どもに頼りたい」が五二・二割と過半数を占め、親子の強いキズナに託している。これは、農村部と女性に多くなっている。

つぎに「子供に頼りたくない」「頼りたいができないだろう」と核家族化の時勢を認めているものは三〇・一割と、子供への依存は無理と割り切っている。

これは男性と若年令者が多くなっている。

以上のことから、中高年層の老後の願いを推察すると、

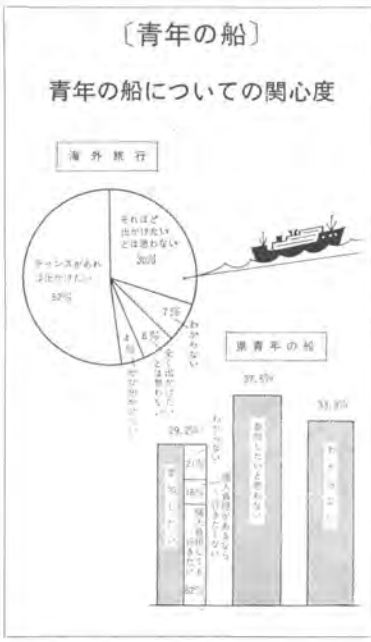
①子供との同居 ②家族的な仲間 ③経済的安定 の三つであるといえる。

子供に頼りたくない、頼りたいが無理だろう、と答えた方のうち老人ホームに入りたくないと答えており、家族団らん、新しい環境に対する適応の困難さおよび現在の環境に対する愛着などが、施設に入ることを躊躇うよさせる原因とも考えられる。

つぎにどのような施設を作ったらいかにについては、養護老人ホーム四〇・九割と最も多く、軽費老人ホーム三六・四割と低家賃の老人住宅九・一割となっており、有料老人ホームの入所



希望がなかった。子供たちの施設としてどんな施設の充実がよいかに対し、遊園地が三九・二割で最も多く、とくに高岡地区が五七・五割で、地点環境別では住宅、商店街に多い。これは近年の交通量の増加による安全な遊び場を求める傾向にある。

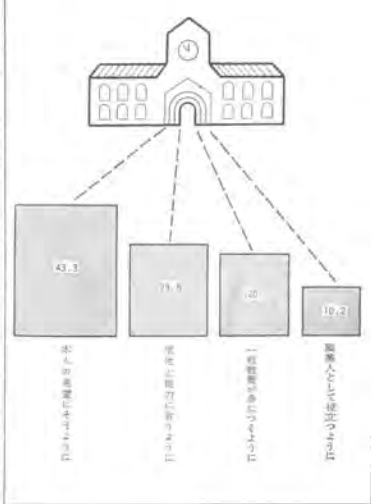


二〇才から三九才までの人に海外渡航の意向を質問したところ、最近の海外旅行ブームを反映して、海外へ出かけたという人が過半数の五二・三割を占め、とくに二〇才代の方は三分の二近くが海外旅行を望んでいる。政府の「青年の船」を知っている人は六五・八割とかなり多く、海外に対する関心の強さがうかがわれる。また、「富山県青年の船」に参加したい人は、二九・二割と案外少ないが、参加したい人の中で費用を一部負担しても行きたいという人は約六二・一割を占めている。

要を語っている。県のやっている保健衛生対策に対する県民の要望は、成人病予防対策が圧倒的に多く、全体の五九・六割を占めている。これは、かつて国民の主要死因であった結核、肺炎などの感染性疾患が大巾に減少し、かわって脳卒中、がん、心臓病が主要原因になっていることから、全体的に成人病に対する県民のひとし、社会的関心の高まりを示している。

### 〔教育〕

#### 高校を選ぶ場合



高校に進学させたいとして学校を選ぶ基準は、本人の希望にそってが四三・三割と最も高く、個性や能力にあわせて二二・五割、一般教養が身につくよう二〇・〇割となっており、大学に進学しやすいように九・六割となっている。

そして、普通科四〇・二割、職業科二七・三割で、普通科選択の理由は大学に進学のため四五・四割、一般的な教養が身につく三六・七割、子供の希望二二・六割と、必ずしもその目的が明確でない。一方、職業科では学歴よりも実力社会に就いて三六・八割、就職のため二六・〇割、子供の能力や個性にあっている二〇・三割など、実力主義になるといわれていることを反映しているといえる。

精神開発  
心を豊かにするための方法に

### 〔中小企業〕

#### 店や会社を営んで困っていることは



体力づくり  
健康増進のために毎日何らかの運動をしている人は一三・一割

運動施設  
運動施設の中で最も要望の高いものは、運動広場三八・六割と遊園地の三八・二割であり、ついで体育館の二三・六割である。

お店や会社を営んで困っている人は七一・一割ある。その中で、人手が足りない方は二五・九割と最も多く、本県の労働需給の逼迫状況を示すものといえる。競争が激しいと答えた人が二四・一割で第二位であるが、これは本県の商業が過小過多性に原因があると考えられる。儲けが少ないが二一・八割で第三位であるが、これは労働力不足による賃金、金利負担などの圧迫が主な原因と考えられる。では、何に力を入れてほしいかという点、融資の強化が第一で、ついで若い人を県内にとりよる要望が強い。

### 〔農業〕

#### 農業振興策として県に望むこと

農地の基盤整備	8.1%
うまい米づくり	15.0%
畜産、野菜、果樹などの生産	11.4%
農業の機械化	8.4%
工場誘致	6.0%
農業後継者の育成	8.5%
農業資金の融資	1.8%
農村婦人の健康管理	4.4%
上下水道など生活環境をよくする	7.7%
その他	0.7%
わからない	27.8%

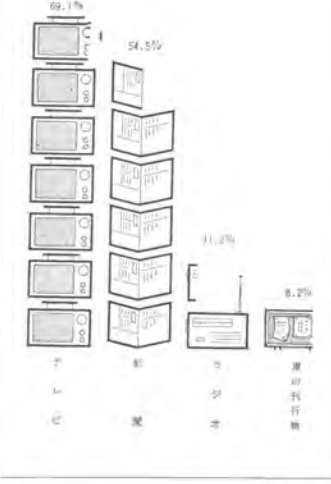
こんごの農村の振興策に対する回答を要望順に内容を検討してみる。

一 うまい米づくり(一五・〇割)生産地の農村では二一・一割を望んでいるのに対し、住宅地一七・五割や商店街一八・八割など、消費地では要望が多い。従って、良質品種への統一、適期刈取り、異臭米、汚染米の防止、適正乾燥による良質米の生産などを重点に、対策を進める必要がある。

三 農業後継者の育成(八・五割)  
年令別に見ると四〇代二二・三割、五〇代一〇・四割が熱望しており、農林漁業の後継者に対する不安が大きい。

### 〔広報〕

#### 県政を何で知るか



県庁や県の出先機関にどの位の人が訪れ、それらの人に対する県職員への期待がどうかについての調査では、県庁を訪れた人は割合少なく二二・三割である。内訳は郡部よりも、市部、女性よりも男性、三〇/五〇代が多い。

県職員への期待度は、普通が六六・九割、親切一五・三割、不親切一四・九割となっている。

県へ要望や苦情を伝える場合、移動相談室を利用する二三・七割、県庁や出先の窓口へ行く二二・二割が上位を占め、そ

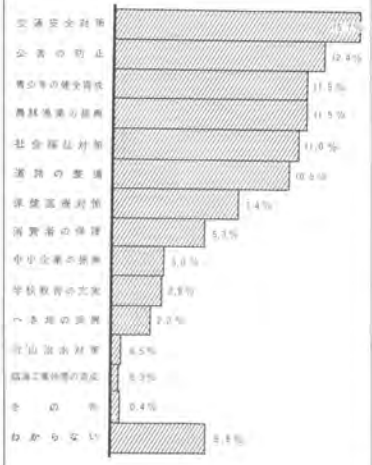
二〇代の若い人が機械化を望んでいる。  
五 基盤整備(八・一割)  
農林漁業者は、基盤整備を施策のトップに挙げており、これに対する農家の意欲のいかに高いかがうかがわれる。

の声をしっかりと伝えることのできる方法と、県議会を通じて伝える

県の仕事や県議会の活動を何で知りますかに対し、テレビが六九・一割と電波媒体が優位にあり、ついで新聞五四・五割、県の刑行物八・二割となっている。男性および管理職・事務・技術職の者は、活字媒体によるものが多く、女性および高令者は、テレビ、ラジオによる周知度が高い。県が実施している広報媒体についてもこの傾向がみられる。

### 〔一般県政〕

#### 県政に望むこと



県に望むこととしては左のとおりである。



### 目を大切に

### 読書は正しい姿勢で

私達のからだでも最も大切なものは何でしょうか。もちろん脳も心臓も大切です。手や足もなければ非常に不自由です。しかし、何と云っても目が見えないほど不自由なことはありません。目は知識や楽しみの取入口であり、また美貌の中心でもあるからです。

#### 目の病気

目の病気には、軽い結膜炎程度のものから失明するものまであります。また、目だけをわづらうものと、高血圧や糖尿病、妊娠中毒症などの全身症状の一つとして現われるものもありま

目の愛護デー  
あなたの目は  
疲れていま  
せんか



す。近視、遠視、乱視のような機能障害もあれば、色盲や色弱のように遺伝するものもあります。また、最近話題になっている病気に風疹とペーチェット氏病があります。風疹は、妊娠初期に母体が風疹にかかると、胎児にも感染して、先天性白内障や先天性心異常の率が高くなるという病気で、そして残念なことに、風疹に有効な予防注射は現在のところありません。ペーチェット氏病は、目と皮膚と粘膜に特異な病気を起こすもので、皮膚・粘膜・眼症候群ともいわれています。この病気は

網膜がだんだんとおかされ、網膜剝離をおこしたり、白内障があらわれたりして、再発をくりかえし、結局失明することが少なくありません。そしてこれも現在のところ決め手となる治療法がありません。このように、目の病気は非常に種類が多く複雑で、これからの学問の進歩を待たねばならないものも少なくありません。

#### 仮性近視(偽近視)

さて、小学生や中学生、高校生に多いものに仮性近視があります。これは、近い距離で長時間本を読んだり、試験勉強をし

たりすることで起るもので、学校近視ともいわれており、適度な明るさのもとで、適当な距離を保って、正しい姿勢で本を読み、時々目を休めるという習慣を身につけることで、かなり予防できるものです。また、もし仮性近視といわれても、あわてて眼鏡をかける必要はありません。しかし、眼科専門医のところで精密検査を受け、指導して

もらうことが必要です。

#### 老人性白内障

また、老人に多いものに老人性白内障があります。これは進行性で、水晶体の端の方からにごりが始まります。この進行をくいとめ、またなおす薬はいろいろと研究されておりますが、確実性という点では決定的でなく、結局は手術でのごった水晶体をとってしまうほかありませ

#### 目の愛護デー

10月10日は「目の愛護デー」です。これを機会に、あらためて目の大切さを考え、目がかすんだり、異感があつたら、我慢をせずに、すんで眼科専門医にかかりましょう。そして、ふだんから、丈夫なからだをつくることに心がけましょう。

(公衆衛生課)

## 花嫁さんブラジルへ

### 「富山村」のコーヒー園に



ことしもまた、ブラジルの富山村へ郷土から花嫁さんが出発しました。花嫁さんは、入善町下立、農業半場栄作さんの次女恵子さん(二二)で、富山村でコーヒー園などを経営する佐々木昭雄さん(二七)と結婚されたものです。県では、八月二〇日関係者らが出席してお祝いの壮行会を開き、勵ましました。

ブラジル丸で神戸港から出発した半場さん



(公衆衛生課)

## 薬は凶器にも

#### 正しい使い方

薬は病気の治療、予防など、わたしたちの健康上欠くことのできないものです。しかし、薬は昔から両刃の剣といわれ、使い方が正しければききめをあげ、間違えば凶器ともなるといわれられました。

薬を正しく使い健康を守るためには、まず薬のケースや効能書に書いてあることをよく読み、十分注意して薬を正しく使しましょう。

#### 用法、用量を正しく

薬は年令、体質、症状などに応じて、用法、用量が定められています。これを正しく守ることが薬をもっとも有効に用いることになるのです。これを守らないと薬が効かないだけでなく、中毒を起こすことがあ

### 正しく使って健康なからだ

#### 服用の時間を守る

服用の時間を間違えると効き目が薄いことが多く、また副作用が現われることもありますので、定められた服用時間を正しく守ることが大切です。

#### 連用や乱用をしない

同一の薬を長く続けたり、みだりに服用したりしますと、いろいろな副作用があらわれますので、注意をする必要があります。

#### 特殊体質の方は

薬に特に過敏で中毒を起しやすいため、体質の人が薬(とくにかぜ薬や鎮痛薬など)を使用するときは、必ず医師、薬剤師に相談することが必要です。

#### 薬の正しい保管の仕方

薬の保管上の注意を怠ると思

わぬ事故のもとになりますので、次のことに注意して薬を正しく保管しましょう。

- 安全なところに保管する
- 子供の誤飲を防ぐために、子供の手のとどかない一定の安全な場所に保管しましょう。
- 他の容器に入れかえない
- 殺虫剤をジュースの空きびん

(業務課)

に入れ換えて、子供が間違えて飲んだら大変です。薬を他の容器に入れ換えるのはやめましょう。

湿気、日光、高温をきらう

一般に薬は湿気、日光、高温によって影響を受けますから、せんを固くして、日かげの涼しい安全な場所に保存しましょう。

### 十月の解説

陰暦の十月のことを「神無月」といいます。一般に全国各地に散在している神々が、この月には出雲の国(島根県)に集まって、るすになるので、神無月といわれています。

一説には、このころはお米の収穫期で、お米を原料としてお酒を醸成したこと、この醸成というのを、やまとことばで「かみなし」といったので、かみなし月が由来となったといわれています。

あるいは、陰暦十月になると雷もなくなり、かみなし月がなまったとする説もあります。

一般的には第一説が採用されているようです。





滑川市役所屋上から避難者の救出に活躍する自衛隊レンジャー部隊

## 滑川周辺に地震を想定

# 陸海空一体の県防災訓練

去る九月八日八時三十分、富山湾沖合、百き付近の海底に大規模な地震が発生。

震源に最も近い滑川市周辺で震度六の烈震となり、家屋は次々と倒壊、繁華街を中心に大火災となった。一方、富山湾沿岸へ大津波が来襲、漁船同志が激突して炎上するもの、流失するものほか、遭難者も相当数にのぼり、海岸の護岸提防は欠壊し、みるみるうちに市内へ浸水、その惨状、目に余るものとなり……。

という地震災害がもし起きたら大変と、こんな想定で県総合

防災訓練が行なわれました。

中田知事は、訓練本部長となり、陣頭指揮。地元消防団、自衛隊、警察、国鉄、地鉄、日赤救護班、電力会社など、陸に海に空に関係機関の真げんな防災訓練が繰りひろげられ、市民もまた、まさかの場合を考えて、避難訓練や炊き出しに一致協力、この訓練の成果を盛りあげました。

いつ、どんなとき起こるかわからない自然災害、1頃の心構えこそ肝要であることを、この防災訓練は教えてくれました。



滑川市役所屋上の避難者を救出するハンゴ車と救急車



避難する生徒たちは真剣そのもの



日赤救護班も活躍



遭難者の救出に一役かう警察機動隊



### 土木部 砂防課

わたくしたちの祖先の生活は、洪水との闘いであったと伝えられ、今日なお水との闘いが続いている。

治水といえば、まず河川の改修であろう。しかし、上流水源山地の荒廃を防止しなければ、土砂の流出によって河床が上昇して、洪水氾濫の原因となる。

出水期において、この流出土砂量が多いときは、水害よりむしろ土砂害といわれるほど、水害跡地に土砂が堆積することがある。本県には、神通川、庄川、黒部川、常願寺川など大きなあばれ川があって、たびたび大洪水を起こしてきた。このような大洪水を未然に防ぐために、砂防課では、山深い渓流に砂防堰堤などを築いて、有害な土砂の流出を防止している。

また、地すべり地帯には、地表水を除くためのボーリング排水孔や排水トンネルなどを設けたりして、地すべり防止につとめている。

そのほか、民家が相当数あり、そのうえの土地が傾斜度30度以上の傾斜地で、土砂崩れの恐れがある地域を、急傾斜地として指定し、土砂崩壊が生じないように工事をしたり、土地の利用を制限して土地の保全につとめ、人命の保護に取り組んでいる。

県庁本館4階にあり、係は業務、砂防、地すべりの3係である。

### 県庁の機構紹介

## みなさんと県政を結ぶ「公聴会から

「愛と繁栄」の中田県政はじめての公聴会は、八月四日高岡会場を皮切りに、八会場で開催しました。ことしの県政公聴会は、各会場ごとに地元に関連深いテーマで代表発言者が意見を述べ、あと残り時間を一般発言とする新方式で開催しました。

みなさんと県政を結ぶ「公聴会から」の声を次にいくつかひろってみました。

### 公害発生企業に対する態度は

問 テレメーターシステムによって県の公害センターへ自動的にデータを送ってくる装置ができるそうだが、このシステムで常時監視体制がスムーズに強化されることを期待する。こんご規制基準を無視する企業に対して、どのような行政指導をす

るのか。

中田知事 県下で、公害防止条例の規制を受けるであろう工場は約五千余にのぼっています。法的にはつきりした規制、罰則あるいは行政命令などを伴った規則は、いまのところ規定以下であった場合は困難ですが、再三再四行政指導的に勧告を行なっていくと思います。もうそういう住民の声を無視する企

業は、つぶれてもやむを得ないんだという感覚が、全部にいきわたってあります。県民の健康と環境保全を前提にしない県政は、あり得ないというふうな思っています。

### 山村に医師派遣を

問 医師の不足は全国的な問題と思うが、とくに当地方のような広範囲かつ冬期間に積雪の多い山村では、医師の不足に悩んでいる。聞くところによれば、県で医師を採用して派遣するという制度もあるそうだが、このような医師による村内の巡回診療をはかってほしい。

阿部厚生部長 県では、移動保健所と中央病院のへき地医療センターの活用を考えています。医師不足だった中央病院も、ただいまは定員まであと三名というところまでこぎつけました。

### 富山米の汚名返上を

問 最近、カドミウム汚染米について、富山米の評判が非常に悪く、汚染されない米を出荷する地帯の者は迷惑に思っている。この際、思い切って富山米という銘柄の名を別なものにしてはどうか。将来の自由化に備えて、南砺地方の米を「なんとうまい米だろ」と、いわゆるゴロ合わせをして、これをひとつのキャッチフレーズに売り込もうと意図している。銘柄の名前としては、かっこうなものだと思いが、どうか。

中田知事 カドミウム問題は全国にいろいろな波紋を投げかけていないわけでは、今年度から新産都市の指定を受けていても、山村振興法の指定のための調査が受けられるようにするというところで、やっと希望をいれてもらったわけです。しかし、指定される場合には、新産産地から脱退してもらうという問題があるわけですから、過疎対策といたしますと、山村振興法は非常に大きなメリットをもってありますので、町自体の問題としてもお考えいだかねばならない問題だろうと思います。

### 山村の学校は五日制にできないか

問 八尾町の大長谷には、小矢部とか下新川の先生が非常に多くおいでになる。土曜日に家に帰る場合、六時半の最終バスで

ました。いちばん被害を受けている本県全体の米について、たいへん農民の方々に迷惑をかけていることは、本当に遺憾に思っております。「なんとうまい米」というキャッチフレーズもたいへんよいアイデアだとは思いますが、県、農協、農民の方々も一緒になって、この汚名の返上に、これからもういぶん長い時間がかかると思いますが、それでも、十分な努力をしなければならぬと思っております。

### 谷間に光を

問 利賀村水無部落は、今日まだ電灯も電話もなく、テレビも入らず、昔のままのランブ生活である。昭和三十六年度にダムによる水没部落と定められたため、ダムの規模が縮小になった今日も放置されたまままで、発展性のない部落である。小学校は

帰ると家につくのが十二時近くになる。  
翌日正午になりますと月曜日の授業のためにもう出かけてこなければならぬ。これでは休日というものではない。こういう事情の学校には、休日二日制で、月曜日から金曜日まで指定の科目を勉強させるように認められないか。  
塩谷教育長 ご意見はたいへんすぐれたアイデアです。夏休みの期間、あるいは全体としての授業時間の問題を確保する範囲内で、こういったことを現在一部でやっているところもございいます。もう少し全般で工夫し合っていて、制度的に大幅に活用できるような方法を考えたいと思っていて、現在いろいろと関係の方々とお話を進めているところであります。(相談室)



会場きつしりの利賀村会場

廃校になり、若者は子供の教育のため借家をして、近くの市町村へ出ている。残るのは五十才以上の者ばかり。十一月末から五月までは雪のため全く孤立の状態である。何分貧しいため、外へ出る力もない。一日も早く希望していたダムの着工をお願いしたい。

中田知事 ダムについては、この月の十一月頃からつけかえ道路などを着工す

問 立山町が新産産都市に入っているのに、山村振興法が適用されないというのだが、この点についてたずねたい。

中田知事 本県の場合は、一八も山村振興法の適用を受けられる地域があるにもかかわらず、新産産都市に指定されているために、その半分しか指定されて

### 高等職業訓練校

わが国では、いまなお学歴偏重、ホワイトカラー偏好の風潮が根強く残っており、このことが技能者不足の大きな原因となっている。そこで労働省では、このような風潮を排して、本人の適性と能力に応じて技能を伸ばそうと、職業訓練事業を実施している。

これは労働者または労働者になろうとする人たちに、職業に必要な知識や技能を習得させ、職業の安定と地位の向上をはかり、社会の発展に役立てようとするもの。

訓練は、国、県、市町村または雇用促進事業団などが行なうものに分けられ、県ではすでに11の高等技能学校を設置して、技能者の養成にあたっている。雇用促進事業団(労働省の予算によって運営)が行なっているものに、富山、魚津両総合高等職業訓練校がある。「ここは、県の行なっている高等技能学校の期間1年に対し、2年間みっちり技能を磨いて、熟練工として社会に送り込む施設です」と係官は語っている。

広々とした実習場では、溶接や木工に生徒たちが名工めざして働んでいた。

訓練科目は、富山では鑄造科ほか7科(定員300名)。魚津は、電子機器科ほか5科(定員150名)となっている。

### 国の出先機関紹介

所在地は  
富山総合高等職業訓練校  
……高岡市博労本町4の1  
魚津総合高等職業訓練校  
……魚津市川縁1355



# 公害部を新設

## 9月定例県議会ひらく

九月定例県議会は、九月十九日招集され、一般会計予算三二億一三三万円の補正。公害部の設置。電気局から企業局への名称変更、公害紛争処理条例、交通安全対策協議条例など四四案件（報告、承認含む）を原案どおり可決しました。

また、議長には、谷原理一氏、副議長には鹿熊安正氏を選出。金子出納長の辞任（企業管理者に就任）に伴う後任の出納長に竹島総務部長の選任を同意して、十日間の幕を閉じました。

これで一般会計予算の累計は、七二億二、三三六万四、〇〇〇円となりました。



**白岩川ダム用地補償に調印**

白岩川ダム用地補償の調印式は、八月二七日県庁知事室で行なわれ、県から中田知事、地元から釜土勘左衛門白岩川ダム建設委員長ら五人が出席しました。

白岩川ダムは、白岩川総合開発の一環として、立山町白岩地内に建設されるもので、ロックフィルと重力式の複合ダム。これが完成すれば、下流の洪水被害防止と耕地のかんがい用、立山町地区の上水道用として多目的効果が期待されます。

総工費は一七億六、〇〇〇万円で今年度内に着工し昭和四十八年度に完成の予定です。



完成した豪雪山村開発総合センター

### 豪雪地区の「文化の殿堂」

#### 豪雪山村開発総合センター完成

過疎対策の一つとして、国の指定を受けて利賀村に建設中の豪雪山村開発総合センターは、このほど完成。八月二日中田知事ら関係者三〇〇人が出席して完工式をあげました。

同センターは、豪雪山村開発の拠点として建設されたもので、北陸地方では初めてのもので、建物は鉄筋コンクリー

ト四階建、延二、六五〇平方メートル、総工費七、二〇〇万円。

中には、農協事務所、スーパーマーケット、美容室、産業実習室、辺地診療所、保健室、産室、老人・婦人・青年各研修室、会議室、結婚式場、食堂、中学校寄宿舎などが設けられています。



一般質問に答える中田知事

### 直接請求の県議会ひらく

#### 県公害防止条例改正をめぐる

富山県公害防止条例の改正を求める住民の、直接請求による臨時県議会は、八月二十五日開催されました。

午前十時から本会議を開き、会期を一日に決めました。しかし、会期決定にあたり、会期を三日間と主張する社会党議員が動議を提出。広井議長が質疑、討論を省略して採決したため、一時は大荒れとなりました。

中田知事が提案理由を説明。約三〇〇

人の傍聴者が熱心に見守る中で質問戦に入り、「住民の願いをきいて条例を改正せよ」という野党側と「こんどの新条例は、住民福祉中心に改正しました」とする県の説明で、審議は平行線をたどりながら、結局改正案は否決されました。

なお、この日議会議事事務局では混乱をさけるため、昭和二四年の公安条例の審議以来二二年ぶりに傍聴券を発行しました。



住民請求によって開催された臨時県議会で説明する中田知事



あいさつする中田知事

### 老人福祉 初めての県民会議ひらく

富山県で初めての「豊かな老後のための県民会議」は、九月四日県民会館に約一〇〇人の老人や関係者が参加して開かれました。

最近、老令人口の急激な増加に伴い、老人の就労、医療対策、福祉の向上など早急な充実が望まれています。その中で開かれただけに、会場は県民あけて

老後の問題を真剣に考えようという雰囲気が高まりました。午前中は、「老後の所得保障」「老後の保健と医療対策」「老人福祉対策」「老人クラブ活動のあり方」の、四研究部会にわかれて代表者の発表をもち、七〇年代の老人福祉問題について全員が豊かに老後を送ろうと誓いあって閉会しました。





ねたきり老人の世話をする寮母さん



(富山市流杉)

県立流杉老人ホーム

カメラルポ



食事はいちばん楽しいとき  
大勢での食事は食欲もすすむ

クラブ活動で生け花を習う手に力がこもる

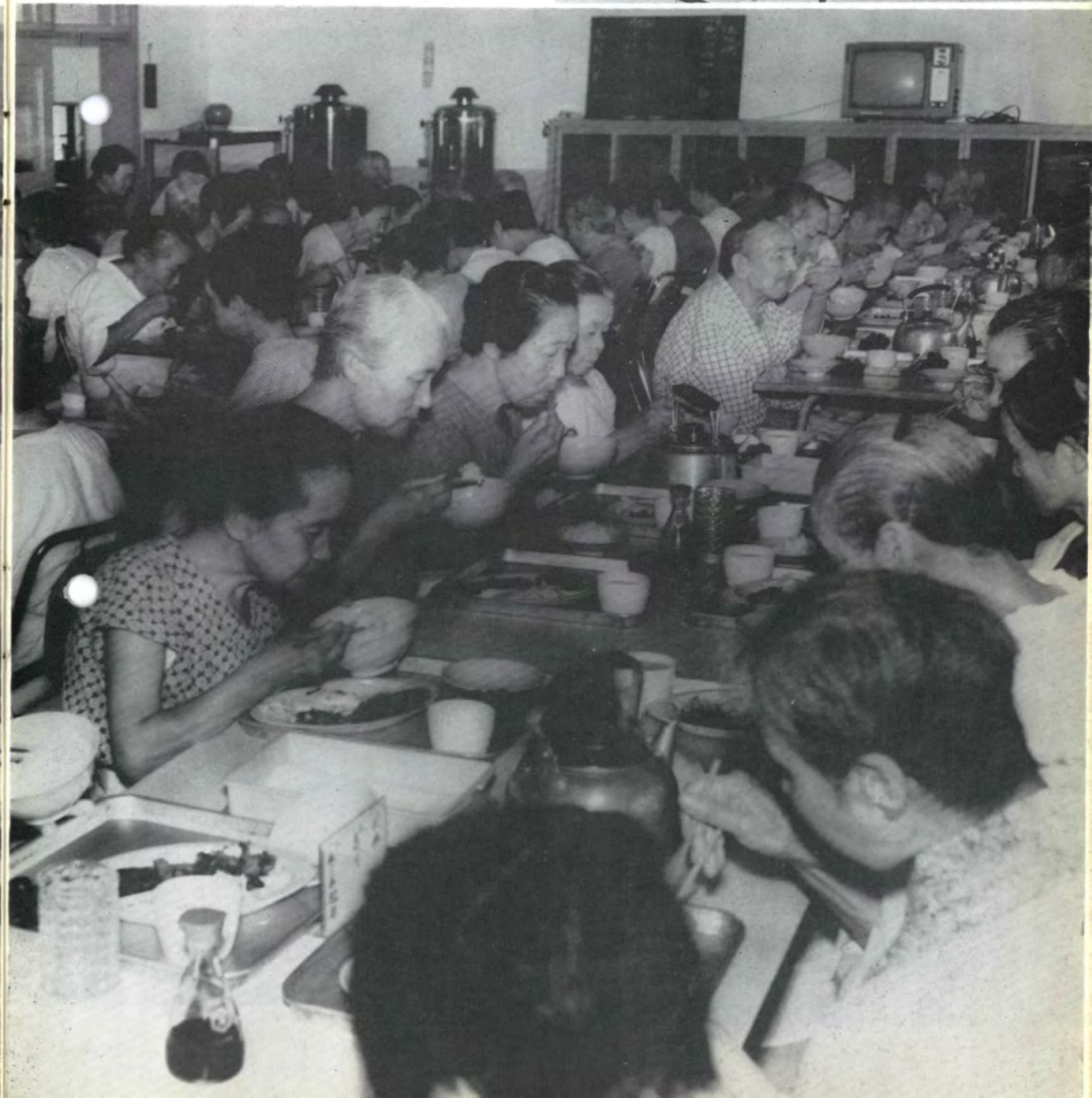


### 老後を楽しく

昔は「古稀」といって、人生七十まで生きる人は稀だといわれてきましたが、いまや平均寿命は七十歳をこえました。

本県の六〇歳以上の方は、昭和四十年には九・八割でしたが、昭和五十年には一二・七割、六十年には一三・四割に達すると推定されております。つまり一五年後には県民のうち七人に一人が老人で占めるといふ訳です。そこで、県では老人福祉対策の一環として六五才以上の方で、身体、精神、環境上の理由と経済的な理由から家庭で生活が困難な人たちに、楽しい生活を送っていたらどうかと養護老人ホーム(定員一五〇人)を設置しております。

また、六十五才以上の方で、からだや精神上に欠陥があるため、いつも介護を必要とし、かつ家庭で世話が困難な老人を收容し、身のまわり一切の世話をする特別養護老人ホーム(定員五〇人)も設置。ここで老人たちは、なんら心配のない生活を送っています。  
入所を希望される方は、近くの民生委員、市町村役場、あるいは社会福祉事務所にご相談下さい。費用は原則として無料ですが、収入の状況によって一部負担していただくことがあります。



わが子をいつくしむように菊作りに余念がない



集会室では、男女混じって余暇を楽しむ





# 越中史 夜話

(第17回)

廣瀬 誠

(富山県史編さん専門委員)

## 籠の渡りとロープウェイ

立山の裏にロープウェイが開通した。さる七月二十四日開通式が挙行され、鋼索につるされたゴンドラ二両が雲表を遊走したのである。

このはなやかなニュースの半月後、一つの暗い記事が夕刊の片隅に載った。八月十三日「かごの渡りで転落、仕事帰りの農民水死」という記事である。いまごろそんな古風な交通機関があったのかと驚いた人もあったであろう。この籠の渡りは、五箇山の楮と岐阜県小白川の両村落の間、庄川の谷にかけられた同地唯一の渡河施設である。おそらく現在日本でただ一つの常設籠の渡りであろう。

この明暗二相、新風と古風の交通施設はまるきり別物のような印象を与える。たしかに目的

は大きく違う。一方は観光遊覧のためのレジャー施設。片方は過疎山村の生活の道具である。しかしその構造はどうか。大綱を張り渡し、その綱に人間の乗る容器をぶらさげ、ツルベをたぐる方法で渡っていく。材料が木のツルベから金属に変わり、カゴがゴンドラに変わり、手動式から電動式に変わっても、基本的には同じである。横に動くものを縦に動かしただけの相違である。祖先何百年来の生活の知恵と同じものが、最新の乗り物の中に生きているのである。

籠の渡りが文献に現われるのは鎌倉時代の初期からで、「越の方」、「越中・越後の境」、「白山山ろく」などと記され、北陸地方山間独特の珍しい渡河施設として、中央文人から注目



### 富山県の自然(2)

#### 岩室滝

(立山町)

立山町虫谷乳子場部落、白岩川支流の虫谷川に「岩室滝」がある。滝の高さは二四呎で、白い棒状をなして紺碧の滝壺に落ち、白い泡を沸かしてその響きは百雷を聞くようである。滝壺は深く、水深五呎はあろう。水面上の岩壁は深くえぐられて洞窟をなしており、滝壺に溢れて流れる水は深く下方に浸蝕して峡谷をつくり、下流には岩塊が点在し、あるいは累々と重なりあっている。とくに藤の老幹が溪間を横切り、飛竜がまさに昇天するありさまなどは、実に一大秘境を思わせる。滝の境域にコンクリートの棧道を設け、溪間に二つの橋を設け、十分鑑賞できる施設がある。



されていたことがうかがわれる。越中の籠の渡りとして古来有名だったのは、神通川飛越国境

のものであった。悪源太義平の妻八重菊・八重牡丹両女墜死の哀話で知られ、錦絵にも描かれ、凡兆はじめ歌人・俳人・詩



五カ山籠の渡り古図 (二十四輩順拝図会より)

人にもはやされた。この籠の渡りのことを全国修行僧の成亮が「日本一難所」と折紙をつけているが、そのように不便で危険な渡河方法が改められなかったのは、幕府領と大藩加賀藩領との境目にあつたという政治的事情による。五箇山十三カ所の籠の渡りも、加賀藩の流刑地・塩硝製造地として、ことさらに不便におかねばならぬ理由があつたからであろう。

だから明治になると、五箇山も神通川も大部分普通の木橋にかけかえられた。世上往々、明治維新を過少評価する「学者」がいるが、封建制度のきびなを解き放つた維新の意義は正しく見直すべきである。

明治以後新たに登場してくるのは、登者用の黒部峡谷平の籠の渡りで、これは日本近代登山史上大きな役割を果し、昭和初年、釣橋にかわり、その釣橋もまた昭和三十六年黒四ダム湖に水没した。これにかわって登場した新しき籠の渡りがロープウェイであつた。私たちは、このはなやかなレジャー施設を目を見張るとともに、過疎山村の片隅にいまも細々と残る籠の渡りに目をとめ、そこに息づく人々の生活を考えてみたいものである。



# 公園はみんなのもの

いつもキレイな楽しい公園に



彼女……ゴミ箱がここにあるじゃないの  
ゴミ……実は私もそこへ入りたいのですが?

## 日曜日の朝はテレビで県政を

テレビ  
**みんなの県政**

(毎週日曜日)

県政の広報事項を、フィルム構成および対談で放送  
します。

北日本放送 (7:35 ~ 7:50)

10月4日 11日 18日

富山テレビ (7:30 ~ 7:45)

10月25日